

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

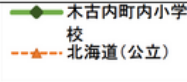
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

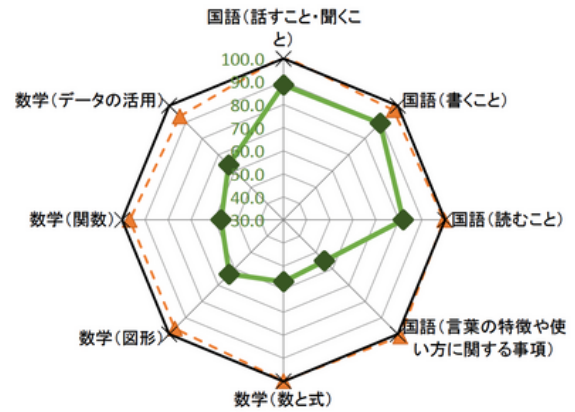
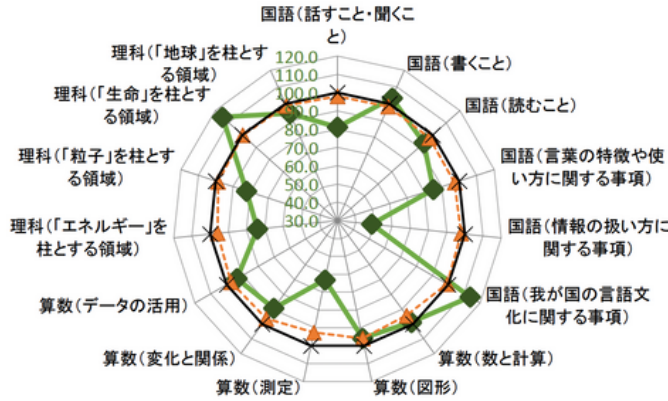
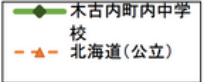
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
木古内町	60	55	54	45	29	504
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



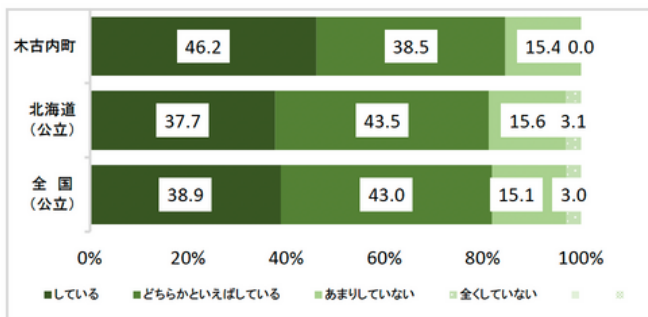
中学校



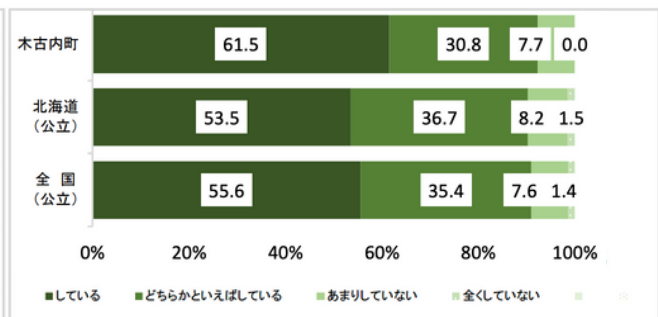
質問調査の状況

小学校

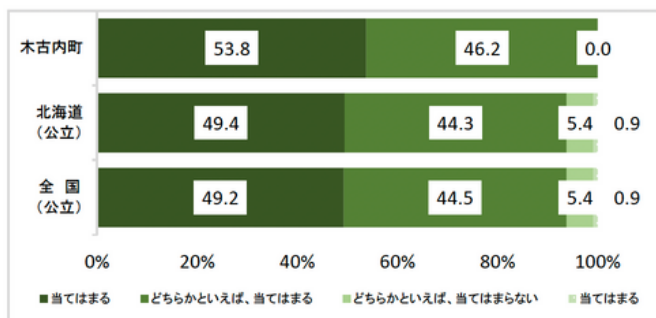
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか



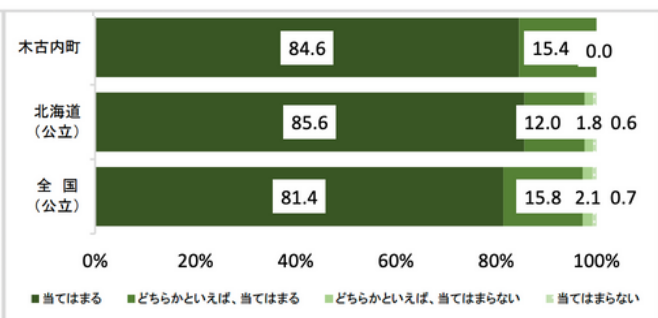
毎日同じくらいの時刻に起きていますか



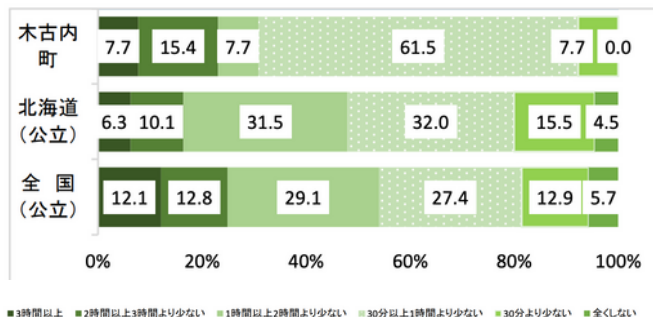
人が困っているときは進んで助けていますか



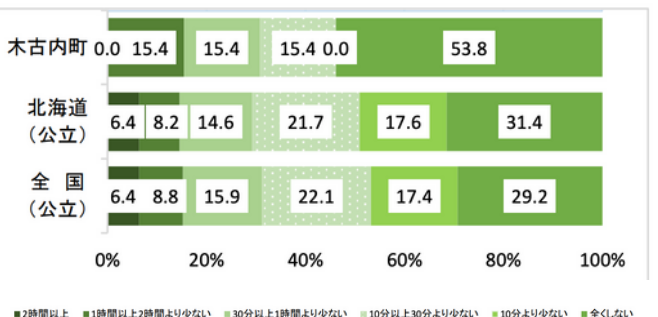
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか



学校の授業時間以外に普段(月曜日から金曜日)1日あたりどのくらいの時間勉強をしますか



学校の授業時間以外に普段(月曜日から金曜日)1日あたりどのくらいの時間読書を読みますか



○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

※中学校理科は平均IRTスコア

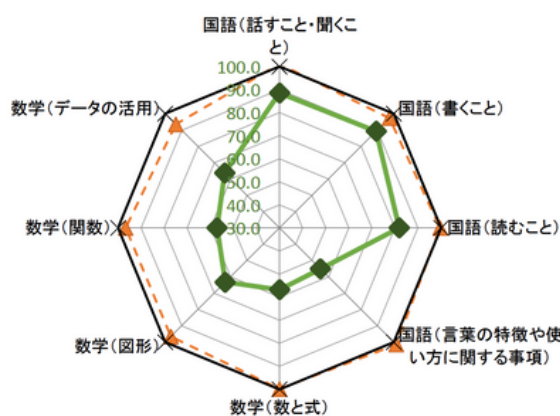
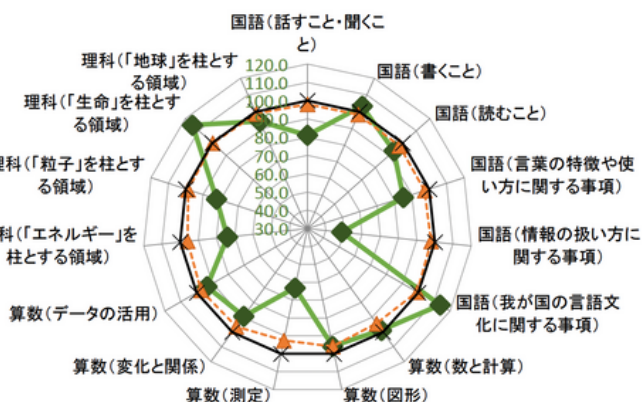
	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
木古内町	60	55	54	45	29	504
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校

● 木古内町内小学校
--▲-- 北海道(公立)

中学校

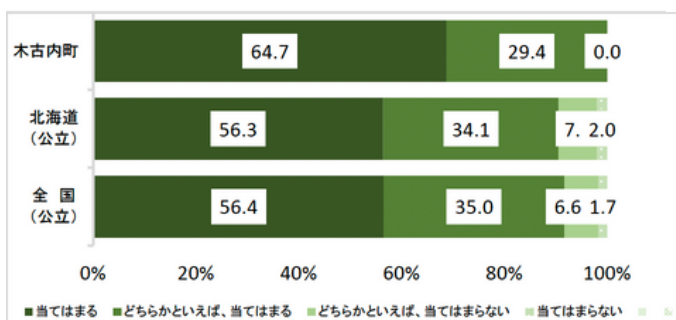
● 木古内町内中学校
--▲-- 北海道(公立)



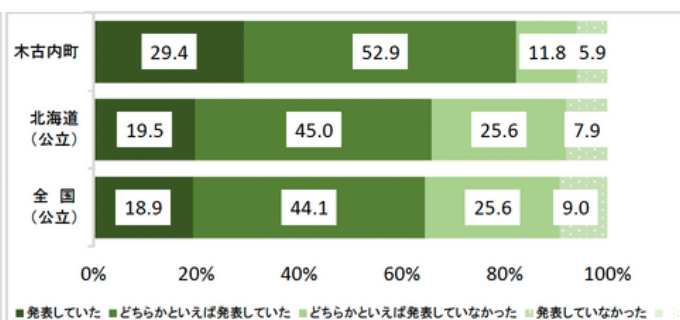
質問調査の状況

中学校

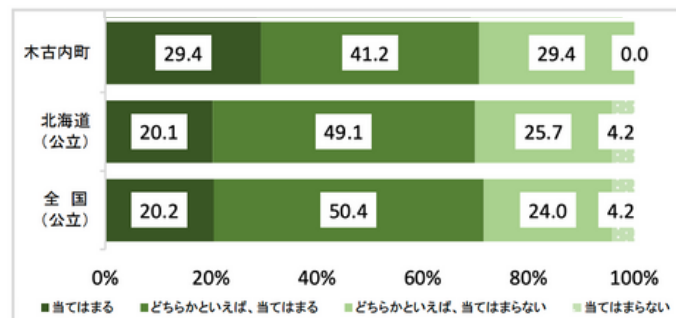
友達関係に満足していますか



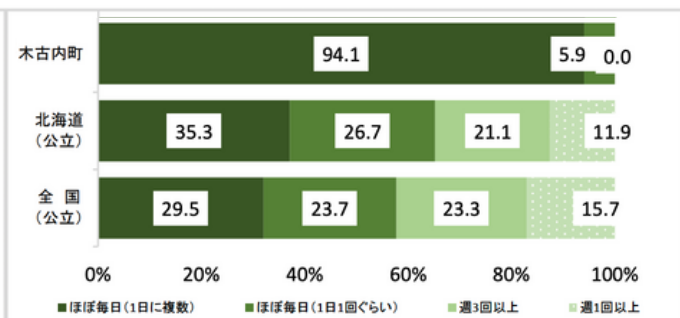
1.2年生のときに受けた授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えが伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか



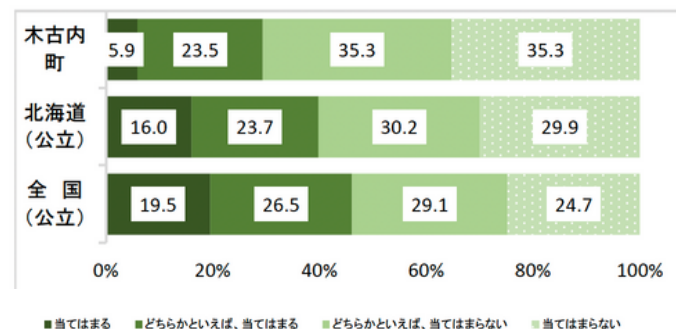
1.2年生のときに受けた授業では各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



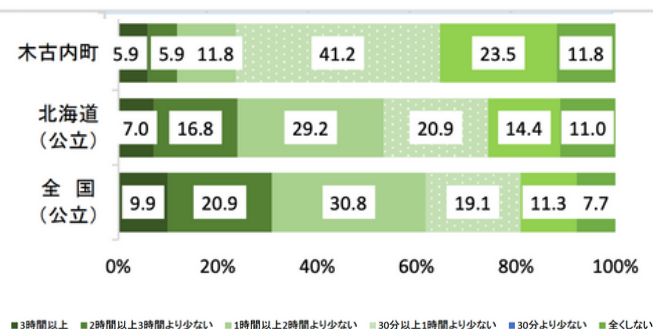
1.2年生のときに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか



数学の勉強は得意ですか



学校の授業時間以外に普段(月曜日から金曜日)1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか



小学校

木古内町の児童は、「毎日、同じ時刻に就寝・起床している」と回答した割合が全国平均を上回っており、規則正しい生活習慣が身についている。さらに、「人が困っているときは進んで助ける」「友達や周囲の人の考えを大切にし、協力して課題に取り組む」「いじめはいけない」といった項目においても全国平均を上回る肯定的な回答が多く、高い規範意識や協調性がうかがえる。

一方、学力面の課題として、平日の家庭学習時間が「30分～1時間」または「30分より少ない」と回答した児童が約7割に上り、読書を「全くしない」児童も半数を超えている。

中学校

木古内町の生徒は、「友達関係に満足している」「自分の考えを工夫して発表している」「各教科で学んだことを生かして自分の考えをまとめている」といった項目で全国平均を上回っている。授業ではPCやタブレットを「ほぼ毎日」活用しており、生徒はICTスキルにも自信を持っている。

一方、数学では「得意ではない」「どちらかといえば得意ではない」と回答した生徒が7割を超え、苦手意識が平均正答率の低さに直結している。加えて、平日の家庭学習時間が短い生徒の割合が全国平均より高く、基礎学力を定着させる機会が不足し学力全体に影響していると考えられる。

【木古内町の改善方策】

小学校

【家庭学習の習慣化と質の向上】

- 家庭における具体的な学習方法を提示するとともに、児童が家庭で取り組んだ課題を授業で活用するなど、家庭と学校との連携を一層強化する。
- 学校図書館の積極的な活用を図り、児童の興味・関心に応じた図書を紹介することにより読書活動を推進し、語彙力及び読解力の育成を図る。

【自己肯定感を育む指導の充実】

- 授業において児童一人ひとりの良さや成長を積極的に認め、児童同士が互いの努力を認め合える活動を取り入れる。
- 達成感を得られるよう段階的な課題を設定し、成功体験を積み重ねさせることで、学習への自信と自己肯定感を育成する。

【ICTの効果的活用】

- ICT活用については、全国平均を上回る成果が見られることから、引き続き効果的な活用を意識させる取組を推進する。
- ICTを通じて、児童が主体的かつ意欲的に学習に取り組むことができる授業改善を進める。

中学校

【数学の学力向上に向けた重点的支援】

- つまづきのある生徒に対しては、授業中の個別指導など、きめ細かな支援体制を強化する。
- 日常生活や社会の事象と数学を結びつけた授業を一層重視し、数学の有用性を実感させることで学習意欲を高める。

【主体的・協働的な学びを通じた学習意欲の向上】

- 生徒の強みである「発表」や「考えをまとめる」活動をさらに奨励し、生徒同士が教え合い、学び合う協働的な学習場面を各教科で積極的に設定する。
- キャリア教育を充実させ、生徒が将来の夢や目標を考える機会を増やし、学習への目的意識を高める。

【家庭と連携した学習習慣の確立】

- 家庭学習に計画的に取り組む方法を指導することを通して、望ましい学習習慣を確立する。
- ICT端末を活用し、デジタルドリルやオンライン教材を活用した予習・復習を促すことで、学習時間の確保と質の向上を目指す。

